

集合的予測符号化仮説：個体の認知と 社会の文化をつなぐ統合理論に向けて



Speaker

谷口 忠大

TANIGUCHI Tadahiro

京都大学大学院情報学研究科
教授

谷口忠大氏は「記号創発ロボティクス」という分野を立ち上げ、9月1日に新曜社ワードマップシリーズの最新刊として『記号創発システム論——来るべきAI共生社会の「意味」理解に向けて』という編著を出版されました。この記号創発システム論という分野は、AI・ロボット研究にとどまらず、言語・社会・意識・生命等に関わる人文社会科学の諸分野とも緊密に融合した新分野として、さながら諸学問のエコシステムとなりつつあります。今回は、その最新の理論的提起として注目を集めている「集合的予測符号化仮説」についてご講演いただきます（参加費無料・来聴歓迎）。

登録はこちらから

講演日時

2024年 **9月26日(木)** 16:30-18:00

言語

日本語

講演場所

北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）W202室および
Zoomによるオンライン 配信（オンラインのみ要登録）



主催：人間知・脳・AI研究教育センター (CHAIN)

共催：科研費・学術変革 (A) 「クオリア構造の現象学」 (JP23H0483103)



問い合わせ先：office@chain.hokudai.ac.jp